

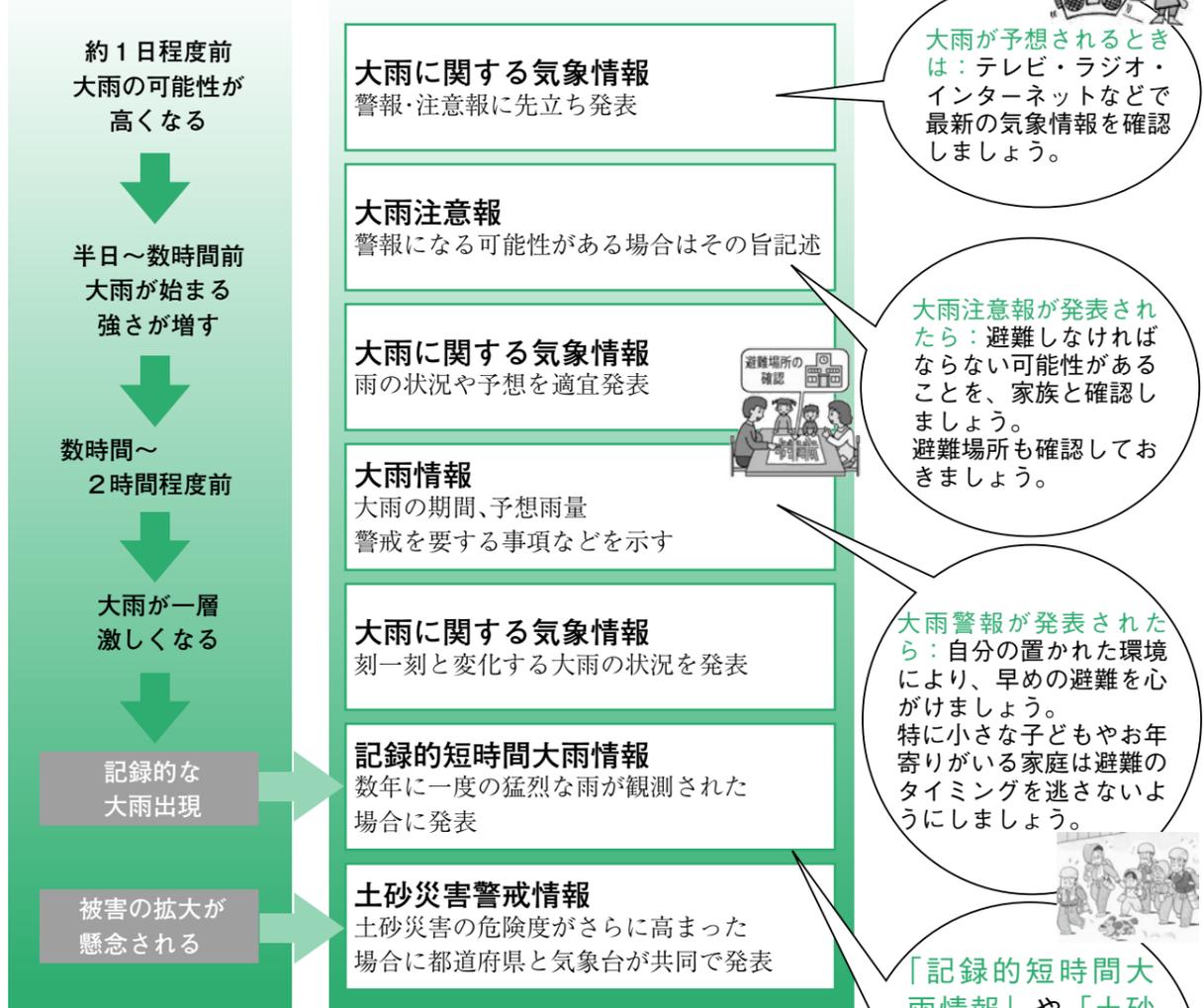
風水害から命をまもるために

防災気象情報に注意しましょう

大雨

大雨による、災害の恐れがある場合、気象庁はさまざまな防災気象情報を発表します。次々と発表される気象情報の意味を理解し、いざという時の行動に役立てましょう。

大雨の場合に気象庁が発表する防災気象情報



大雨が予想されるときは：テレビ・ラジオ・インターネットなどで最新の気象情報を確認しましょう。

大雨注意報が発表されたら：避難しなければならない可能性があることを、家族と確認しましょう。避難場所も確認しておきましょう。

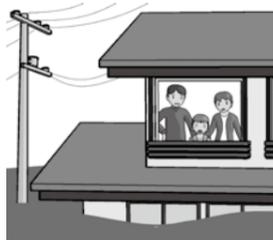
大雨警報が発表されたら：自分の置かれた環境により、早めの避難を心がけましょう。特に小さな子どもやお年寄りがいる家庭は避難のタイミングを逃さないようにしましょう。

「記録的短時間大雨情報」や「土砂災害警戒情報」が発表されたら、すぐに避難を開始しましょう。

ただし、すでに浸水が始まっている場合など、避難に危険を感じたら、無理に避難せず、自宅や近所の2階以上の建物にとどまり、救助を待ちましょう。

各種防災気象情報のタイミングの例

(気象庁HPより)



防災特集

自分の命は、自分で守る！



風水害・土砂災害シーズンに備えて

最近の大雨災害

平成21年～23年の大雨災害による死者・行方不明者**232人**

(「平成24年版防災白書」より)



◎平成21年～23年の大雨災害

出典：中央防災会議「災害時の避難に関する専門調査会」資料

毎年、大雨により多くの方が犠牲になっています。大雨・土砂災害は最も身近で危険な自然災害です！